

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	高齢者胃癌における術後短期合併症の検討			
2. 対象患者	2013年4月1日から2020年12月31日までの期間に、当施設で手術を行った80歳以上の胃癌を対象とします。			
3. 対象となる期間	2013年 4月 1日 ~ 2020年 12月 31日			
4. 実施診療科等	消化器・乳腺・甲状腺外科			
5. 研究責任者	氏名	小笠原 健太	所属	消化器外科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	ありません。			
7. 研究の意義	高齢者胃癌における術後の短期合併症を比較・検討することで、今後の高齢者医療の発展に貢献することを意義としています。			
8. 研究の目的	近年、高齢者の胃癌に対する治療の機会が増えてきましたが、手術の適応や安全性については議論の余地があると考えます。本検討は高齢者の胃癌に対する外科的治療について、術後の短期合併症や術後の栄養状態の観点から手術適応や安全性を明らかにすることを目的としています。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	2013年4月1日から2020年12月31日までの期間に、当施設で手術を行った80歳以上の胃癌について検討を行います。主要評価項目は術後合併症を重症度から大きく5段階に分類しているClavian-Dindo分類を用いて、治療介入を必要とするClavian-Dindo \geq 2の有無と、副次的評価項目として、栄養状態を血液検査の数値を用いて測定するCONUTスコアを用いた術後半年の栄養状態として、後方視的に検討します。			
10. 個人情報の保護	課題研究中及び終了後は、対象者の個人情報の流出がないように当方が管理を行います。また、成果を公表する場合には、対象者が特定できないようにします。			
11. 利益相反に関する状況	本課題における利益相反関係にある企業や団体はありません。			
12. 連絡先	h-ogawara@hirosaki-u.ac.jp			
	電話	0172-39-5079	FAX	- -